

# 北海道立近代美術館



## A 優れた作品の収集と適切な保管

- 美術品取得基金の活用 → 1点購入予定（ガラス工芸1点）
- 彫刻の定期的メンテナンスと修復  
→ 彫刻作品1点（柿崎熙《林縁から》）、野外彫刻2点（伊藤隆道《回転螺旋》 飯田善国《時間の風景》）の修復・メンテナンス
- 作品の額などを保存に適した素材に順次変更 → 本年度末に額装、額修繕、裏板・マット交換等実施

## B 多彩で特色ある展示活動の充実

※ 展覧会の内容については別途説明（6P）

## C 学習の場と情報提供の充実

- 北海道リモートミュージアムの制作と配信（YouTube） → 新規に展覧会2本追加予定、計21本
- 「ウィズ・キッズ '25」の一環として、子どもを対象とした事業を実施  
→ 「めでたいな！幸せねがう日本の絵」で鑑賞ワークショップ5回、「赤・青・白 杉山留美子さんの部屋」でキッズ・ツアー4回
- スマートフォンアプリ「ポケット学芸員」を活用した音声ガイドの充実  
→ 近美・三岸・知事公館エリアの野外彫刻など9点の解説を新たに作成し計22点とした。北海道札幌東陵高等学校生徒の声を収録。
- 展覧会に関連した外部講師による講演会等の実施 → 「金閣・銀閣 相国寺展」「イワタルリ展」で4回
- HP及びSNSを通じて、展覧会や関連事業の情報を発信  
→ HPアクセス654,239件（4/1～1/31）、SNSの投稿数：248件

## <彫刻の修復・メンテナンス>



伊藤隆道  
《回転螺旋》  
修復



飯田善国  
《時間の風景》  
メンテナンス

## <講演会等>



相国寺展講演会 講師：本多潤子氏  
(相国寺承天閣美術館学芸員)



「赤・青・白 杉山留美子さんの部屋」展  
キッズ・ツアー

## D 活動の基礎となる調査・研究の推進

- コレクション及び今後の展覧会に関連した調査・研究  
→「金閣・銀閣 相国寺展」「イワタルリ展」図録、研究紀要の発行、「この1点を見てほしい。」の実施
- 最新の展示環境に関する情報の収集 業者からの情報収集
- リニューアルに関する美術館設備や展示什器、導入事例の調査研究  
→他館（国立アイヌ民族博物館、大阪市立美術館等）視察調査

## E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

- 北海道美術館協力会、美術館ボランティアと連携した教育普及事業の実施
- 小中高・特別支援学校等と「オンラインアート教室」の実施  
→9校10件（高校2校、中学1校、小学校2校、養護学校等4校）計208名に実施
- 学校教育との連携・協力（指導者研修、博物館実習、自主研修など）
- 「アートギャラリー北海道」事業として洞爺湖芸術館所蔵品展の実施



オンラインアート教室  
(枝幸南中学校)

## F 安全で快適な滞在環境の提供

- 施設設備の計画的な点検の実施、不具合や故障の早期発見、必要な補修の迅速化  
→ 道教委技術職員による定期点検を複数回実施、特別展示室空調設備修繕工事等実施

## ○ カフェ事業者等との連携・協働した取組

- 常設展及び特別展でカフェ事業者との協働した取組を展開  
(チケット1枚提示で50円引き)



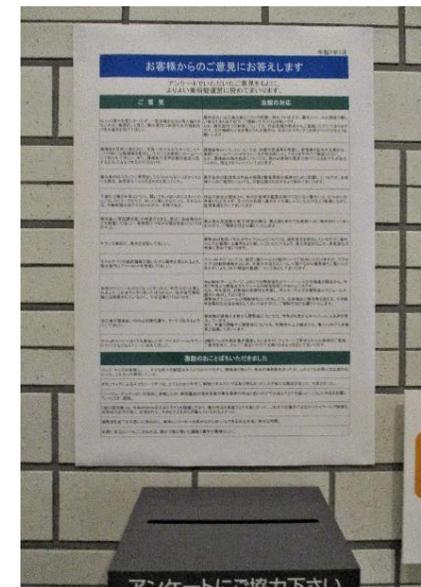
<館内掲示>

## ○ 来館者アンケートに対する対応の充実

- 当館として対応が必要と考えられるご意見等に対し可能な限り速やかに対応
- 来館者アンケートで寄せられた主なご意見等に対し当館の対応をまとめ、館内に掲示及び当館ホームページに掲載

### <一部抜粋>

来館者からのご意見	当館の対応
ゆっくり展示を見たかったが、一度会場を出ると再入場できないので、無理をして見た。展示室内に休憩や水分補給のできる場所を設けてほしい。	展示室内には可能な限りソファの設置に努めていますが、展示スペースの関係で難しい場合もありますので、ご理解いただければ幸いです。 なお、展示室内での飲食については、作品保護の観点からご遠慮いただいておりますので、水分補給などを必要とされる場合は、お近くのスタッフにお声がけくださるようお願いいたします。
年間スケジュールがなくなってがっかり。手元でぱっと見られるよう、これまでどおりあったほうがよい。他の道立美術館には用意されているのに、なぜ近美だけないのか？	Web媒体(ホームページ、SNS)での発信強化とペーパーレス化の推進の観点から、令和7年度より展覧会スケジュールの配架を取りやめたところです。 なお、今年度は、お客様の利便性を考慮し、ポスターサイズの展覧会スケジュールを館内に掲示しております。 展覧会スケジュールの情報提供につきましては、お客様のご意見等も踏まえ、引き続き効果的な方法を検討してまいりますので、ご理解のほどお願いいたします。
当日券が現金払いのみとは時代遅れ。カードで払えるようにしてほしい。	美術館が単独で主催する展覧会については、令和3年度からキャッシュレス決済を導入しています。 また、共催で開催する展覧会についても、利便性向上の観点から、導入に向けて共催者と協議してまいります。



<館内掲示(展示室B出口横)>

B 多彩で特色ある展示活動の充実

令和7年度展覧会事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
近美コレクション 展示室A	3月29日(土)～7月6日(日)			7月19日(土)～11月24日(月)					12月13日(土)～4月12日(日)			
	<p>【1階】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイズ・キッズ '25 めでたいな！幸せねがう日本の絵</li> <li>・リーヴル・ダルティストー芸術になった本 ルオー、ダヴィッド、マティス、シャガール</li> </ul> <p>【2階】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巴里のかほり アール・デコのガラス</li> <li>・青木美歌《未生命の遊槽》</li> <li>・新収蔵品展</li> </ul>			<p>【1階】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウイズ・キッズ '25 赤・青・白 杉山留美子さんの部屋</li> <li>・1945-2025 美術は何を記憶しているか</li> </ul> <p>【2階】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・透明なガラススウェーデンのリリズム</li> <li>・青木美歌《未生命の遊槽》（通年）</li> <li>・アートギャラリー北海道 手のひらの宇宙－洞爺湖美術館コレクション展</li> <li>・この1点を見てほしい。本郷新《嵐の中の母子像》</li> </ul>					<p>【1階】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし美術</li> </ul> <p>【2階】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラー・オブ・グラス</li> <li>・青木美歌《未生命の遊槽》（通年）</li> <li>・この1点を見てほしい。池田良二 《アントニ・タピエス氏に捧げるVaranasi》</li> </ul>			
特別展 展示室B	【貸館】道新			【実行委員会】T v h					【貸館】道新			
	<p>4月25日(金)～6月15日(日)</p> <p>浮世絵スーパークリエイター 歌川国芳展</p>			<p>7月19日(土) ～9月7日(日)</p> <p>金閣・銀閣 相国寺展 若冲、応挙、芦雪 — 禅文化の名宝と美</p>					<p>10月1日(水)～11月24日(月)</p> <p>トーベとムーミン展 ～とっておきのものを探しに～</p>			
									【道単】自主企画			
									<p>12月13日(土)～2月15日(日)</p> <p>イワタルリ展</p>			

## 【展覧会の実施状況】

### 〈近美コレクション（常設展）〉

（令和8年1月31日現在）

展覧会名	開催期間	日数	実施状況	
			観覧者数	一日当たり観覧者数
第Ⅰ期 ウィズ・キッズ '25 めでたいな！幸せねがう日本の絵／リーヴル・ダルティストー芸術になった本 ルオー、ダヴィッド、マティス、シャガール／巴里のかほり アール・デコのガラス／青木美歌《未生命の遊槽》／新収蔵品展	令和7年 3月29日（土）～ 7月 6日（日）	78	13,871	177
第Ⅱ期 ウィズ・キッズ'25 赤・青・白 杉山留美子さんの部屋／1945-2025 美術は何を記憶しているか／透明なガラスースウェーデンのリリシズム／青木美歌《未生命の遊槽》／AGH 手のひらの宇宙－洞爺湖芸術館コレクション展／【この1点を見てほしい。】本郷新《嵐の中の母子像》	令和7年 7月19日（土）～11月24日（月・祝）	112	21,425	191
第Ⅲ期 おはなし美術／カラー・オブ・グラス／青木美歌《未生命の遊槽》／【この1点を見てほしい。】池田良二《アントニ・タピエス氏に捧げるVaranasi》	令和7年12月13日（土）～令和8年4月12日（日）	(38) 95	(4,566)	(120)
計		285		

### 〈特別展〉

（令和8年1月31日現在）

展覧会名	開催期間	日数	実施状況	
			観覧者数	一日当たり観覧者数
浮世絵スーパークリエイター 歌川国芳展（貸館）	令和7年 4月25日（金）～ 6月15日（日）	45	37,512	833
金閣・銀閣 相国寺展 若冲、応挙、芦雪－禅文化の名宝と美（実行委員会）	令和7年 7月19日（土）～ 9月 7日（日）	44	50,396	1,145
トーベとムーミン展 ～とっておきのものを探しに～（貸館）	令和7年10月 1日（水）～11月24日（月・祝）	48	49,096	1,022
イワタルリ展（道単）	令和7年12月13日（土）～令和8年2月15日（日）	(38) 51	(3,764)	(99)
計		188		



## 1 - (2) 令和 8 年度事業実施計画 (予定)

(近代美術館)

## ① 令和 8 年度 道立近代美術館事業費予算

単位：千円

歳入予算					歳出予算				
区分	令和7年度 予算額 (a)	令和8年度 予算額 (b)	比較 (b-a)	摘 要	区分	令和7年度 予算額 (a)	令和8年度 予算額 (b)	比較 (b-a)	摘 要
常設展観覧料収入	6,968	7,516	548		常設展事業費	15,995	17,825	1,830	常設展(近美コレクション)にかかる経費
特別展(道単)観覧料収入	7,891	8,081	190		特別展(道単)事業費	10,802	14,328	3,526	道単開催の特別展にかかる経費
実行委員会展収入	0	0	0	(大規模県の例) 共催展収入20,000	特別展(実行委員会) 負担金	2,000	0	▲ 2,000	実行委員会主催の特別展にかかる経費
実行委員会展展示室料	0	0	0		教育普及・調査研究資料収集費	821	821	0	美術講演会、普及活動のほか資料調査収集等を行う経費
貸館料収入	11,759	14,376	2,617	展示室、講堂等利用	親子ふれあい芸術体験事業	205	205	0	親子で美術館を楽しむワークショップなどを行う経費
芸術文化振興基金等収入	3,000	3,000	0		収蔵作品特別緊急修復事業	5,343	6,072	729	作品修復を行う経費
一般財源	9,632	9,362	▲ 270		その他	4,084	3,084	▲ 1,000	事業の運営にかかる経費など
計	39,250	42,335	3,085			39,250	42,335	3,085	

## ② 令和8年度の主な取組

### A 優れた作品の収集と適切な保管

- 美術品取得基金の活用の取組
- 経年劣化した額装の更新など、収蔵作品の保全と環境の整備
- 野外彫刻の継続的なメンテナンスと修復

### B 多彩で特色ある展示活動の充実

- 「目指す姿」実現に向けた展示の実施（ウィズ・キッズ'26、わたしのつくりかた）
- ※ 展覧会の内容については別途説明（12P）

### C 学習の場と情報提供の充実

- 北海道リモート・ミュージアム（学芸員による展覧解説動画）の制作と配信（YouTube）
- 学芸員によるミュージアム・トークの実施
- ワークシートの整備
- 子どもや家族を対象とした多彩な自主事業を実施
- 北海道美術館協力会ボランティアによるギャラリー・ツアーの実施

## D 活動の基礎となる調査・研究の推進

- コレクション及び今後の展覧会等に関連した調査・研究と地域社会への還元
- 一般利用者・研究者等が行う調査・研究への支援・協力
- 「目指す姿」（リサーチ）の実現に向けたコレクションに関わるアーカイブ構築
- リニューアル基本計画に関わる美術館の設備や展示什器、導入事例等の調査結果の反映

## E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

- 北海道美術館協力会との連携・協力（美術講座、共通研修などへの協力およびボランティア活動への支援・助言）
- 「オンラインアート教室」（7～12月/7校程度）など、館外事業の実施
- 学校教育との連携・協力（指導者研修、博物館実習などの連携事業実施のほか、自主研修、職場体験学習などの受入れ）
- 「アートギャラリー北海道」参加館のコレクション紹介や広報の相互協力
- 三岸美術館・知事公館との連携・協力（三岸、知事公館での作品展示など）
- 道立図書館との連携・協力（特別展に関連した図書コーナーの設置）

## F 安全で快適な滞在環境の提供

- 施設・設備の点検充実、突発的な不具合に対する速やかな対応
- カフェ事業者との協働した取組の検討・実施
- 来館者アンケートに対する対応の充実

B 多彩で特色ある展示活動の充実

令和8年度 展覧会事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
近美コレクション 展示室A	<p>【コレクション展Ⅰ期】 4月25日(土)～8月30日(日)</p> <p>1階 ・描かれた女性たち－エコール・ド・パリの時代を中心に</p> <p>2階 ・小森忍と北海道</p> <p>・この1点を見てほしい。松島巖《紡がれた器》</p> <p>・ウイズ・キッズ'26 まねしてはっけん！アートのポーズ</p>  <p>ジュル・パスキン</p>  <p>小森忍</p>					<p>【コレクション展Ⅱ期】 9月12日(土)～12月20日(日)</p> <p>1階 ・わたしのつくりかた</p> <p>・アートギャラリー北海道 福井爽人の旅－彼方の眺め 市立小樽美術館コレクション展</p> <p>2階 ・国立美術館 コレクション・プラス ガラス 夢のはじまり</p>  <p>弓山諒</p>  <p>福井爽人</p>			<p>【コレクション展Ⅲ期】 1月9日(土)～4月11日(日) 予定</p> <p>1階 ・札幌国際芸術祭2027連携 せつせつ 雪々と</p> <p>2階 ・エミール・ガレ 生き物たちの饗宴 －動植物が語るガレの自然観</p> <p>・ウイズ・キッズ'26 これって、どんな絵？</p>  <p>本間莞彩</p>  <p>エミール・ガレ</p>										
	特別展 展示室B	<p>【実行委員会】T v h 4月25日(土) ～6月21日(金)</p> <p>ポケモン×工芸展 －美とわざの大発見</p>					<p>【貸館】道新 7月17日(金) ～8月30日(日)</p> <p>魔法の美術館</p>			<p>【貸館】道新 9月12日(土) ～11月8日(日)</p> <p>MINIATURE LIFE展2 田中達也 見立ての世界</p>			<p>【貸館】 11月17日(火) ～23日(月・祝)</p> <p>道展創立100周年記念企画展</p>		<p>【貸館】 11月28日(土) ～12月5日(土)</p> <p>全道展80周年記念企画展</p>		<p>【貸館】 12月10日(木) ～17日(木)</p> <p>新道展70周年記念企画展</p>		<p>【道単】 1月9日(土)～4月11日(日) 予定</p> <p>函館美術館コレクション 文字とアートーポップ・アートから書まで</p>

# 北海道立三岸好太郎美術館



# 3 - (1) 令和7年度事業の実施状況（三岸好太郎美術館）

## ①令和7年度の主な取組の進捗状況

### A 優れた作品の収集と適切な保管

#### ○優れたコレクションの形成

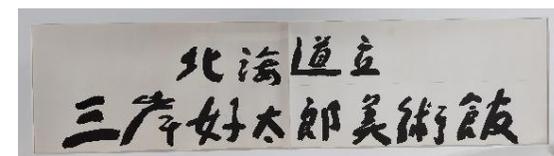
- 三岸好太郎最晩年に限定100部制作された筆彩素描集「蝶と貝殻」を購入予定。
- 開館時に三岸節子が手がけた館名碑の墨書を新たに資料に登録し、三岸節子の尽力を伝える資料としてコレクションの充実を図った。



<筆彩素描集「蝶と貝殻」>

#### ○所蔵作品の適切な保管

- 油彩4点について、UVカット低反射アクリルで額装、素描17点について中性紙ボードでマット装を行い、作品保護の対策をとった（今後の予定を含む。）。



<三岸節子 館名碑の書>

#### ○コレクションの効果的な活用

- 高島屋史料館が所蔵する三岸好太郎関連資料を調査し、好太郎のグラフィック・デザイン仕事について所蔵品展「好太郎のデザイン・ワーク」展で紹介した。
- 所蔵品展では、当館初となるモディリアニからの影響を紹介する展示を行ったほか、外山卯三郎の影響が見える展示を行うなど、コレクションを新鮮な角度から鑑賞していただく工夫を行った。
- 特別展では、線描をテーマに好太郎と現代作家鈴木ヒラク、古代遺跡フゴッペ洞窟の壁画との時代や地域を越えたコラボレーションを図る展示を行った。

## B 多彩で特色ある展示活動の充実

### ○多様なニーズに応える展覧会の開催

→ 展覧会の内容については、別途説明(P.8)。

### ○観覧者拡充のための工夫

→ 所蔵品展では、三岸節子の好太郎についての文章を紹介するパネルの設置や、画家・三岸節子による作品と作家についての身近な証言を紹介する展示手法をとった。

→ 特別展では、好太郎の線描表現の古代壁画や現代美術との対比、アーティストによる呼応した作品の制作、高校生とのワークショップ映像の上映など、展覧会の内容の充実を図った。

→ 「みまのめ」展では、作者（4名）が所蔵する近作や新作を展示することにより、北海道の若手作家のフレッシュな表現を紹介し、特に高大生層の観覧者増を図った。



<特別展リーフレット>

### ○館外における鑑賞機会の提供

→ ミギシ・サテライト(北菓楼札幌本館)令和7年3月13日～令和8年3月12日において4点の作品（《我孫子風景》O-10、《静物（水瓜とぶどう）》O-21、《菊の花の静物》O-85、《花》O-67）を順次展示。



<ミギシ・サテライト（北菓楼札幌本館）>

## C 学習の場と情報提供の充実

### ○教育普及事業の充実

- 学芸員によるギャラリー・トーク。
- ボランティア解説員による展示解説。
- #みまのめVOL.11出品作家によるアーティスト・トーク
- 三岸節子生誕120年記念展関連事業として三岸家ご子孫によるアート・トークの実施。
- 夏休み・冬休み時期中子ども向けプログラム「たんけん美術館」や人形劇の実施。
- 開館記念日、道みんなの日、カルチャーナイトなど無料開放の機会にあわせた多彩なプログラムの実施。
- マール記念日読み聞かせ付きコンサートの実施。
- ミニ・リサイタルやミュージアムコンサートの音楽イベントの実施。
- 特別展関連事業としてアーティストによる高校生ワークショップやアーティストと関係者によるトーク・セッションの実施。
- 好太郎に縁のある建物を巡る街歩きツアーを実施。

< #みまのめアーティスト・トーク >



### ○情報提供の充実

- SNS（InstagramとX（旧Twitter））を計画的に活用し、展覧会情報や各種イベント情報、美術館情報などについて高頻度で発信した。
- 展示室内図書コーナーにおいて、好太郎の画集、書籍、図録、紀要、年報、美術館報、その他関連図書・文献資料などを閲覧に供したほか、三岸アトリエやミギシサテライトの解説文を設置するなどの情報提供を行った。
- 図書コーナーに靴を脱いでくつろげるスペースを設置し、絵本を配架するなどして子どもも利用しやすくなる工夫をした。
- ホームページにおいて展覧会情報や各種イベント情報について情報発信を行った。
- 外部リンク（文化遺産オンライン等）で主要作品の解説を含んだ作品情報を提供した。
- リモートミュージアムを制作し、YouTube上で多くの方に試聴いただいた。

< 高校生ワークショップ >

## D 活動の基礎となる調査・研究の推進

### ○調査・研究の推進

- 特別展「線が、息づく。好太郎の線、鈴木ヒラクのドローイング」企画のために、余市町フゴッペ洞窟の壁画や出品作家鈴木ヒラクの作品における即興的表現について調査研究を行い、三岸好太郎の即興的な「線」の表現の普遍性を明らかにするとともに、展覧会の内容の充実を図った。
- 所蔵品展「二人の悪童 美術史家・外山卯三郎と好太郎」展のために外山卯三郎が1930年代前半に公刊した著作の内容を調査研究し、これまで1932(昭和7)年12月の「巴里東京新興美術展」を見たインパクトとして語られることが多かった「ひっかき」の技法について、1930(昭和5)年にすでに好太郎と親しく交友していた外山卯三郎がピカソの作品における「ひっかき」技法について図版とともに紹介していることを明らかにし、好太郎の「ひっかき」技法の源泉として、別な要素が考えられるという新しい知見を展示を通して明らかにした。
- 三岸好太郎「筆彩素描集『蝶と貝殻』」が美術古書専門店えびな書店の目録に掲載されているとの情報を得て調査を行ない、作品収集に結びつけることができた。
- 東京文化財研究所紀要『美術研究』448号（令和7年度末発行予定）にデータベースに関する「研究ノート」を寄稿し、調査研究の蓄積をひろく社会に還元する機会を得た。

## E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

### ○多様な機関との連携・協力

- 北海道美術館協力会と連携・協力し、ボランティア解説員による展示解説や協力会主催研修会への講師派遣を実施。
- 北菓楼札幌本館及び三岸好太郎美術館後援会と連携し、来館者にスイーツ交換券を配布。これにより、美術館から北菓楼札幌本館への人の流れを創出するとともに、ミギシサテライトの認知度を高めた。
- #みまのめVOL.11を開催し、北海道ゆかりの若手作家の表現活動を紹介した。

### ○学校等の教育機関との連携・支援

- 静内高校、清水高校、余市養護学校しりべし学園分校を対象に、当館学芸員が講師として、教室と美術館をオンラインでつないだ鑑賞授業「オンラインアート教室」を実施した。
- 学校教育で活用できるプログラムを紹介するため、近隣の幼、小、中、高校並びに高文連主催のイベント会場での周知のため当番校を訪問したほか、連携実績のある学校へ電話等により事業参加校の募集を行った。
- 「博物館実習」及び「指導者研修」プログラムにおいて実習生、研修生を受け入れた。
- 市立札幌大通高等学校、北海道札幌厚別高等学校と連携し、特別展関連事業として同校美術部生を対象に、鈴木ヒラク氏を講師として造形ワークショップを行った。
- 学校の団体観覧において当館学芸員の解説・ギャラリートツアー等を実施した。
- 札幌日本大学高等学校及び市立札幌大通高等学校並びに札幌市立九条小学校の児童・生徒を対象に出前授業を実施した。

## F 安全で快適な滞在環境の提供

### ○施設の適切な維持管理

- 定期検査、巡回等で施設設備の機能や安全性を点検・確認し、施設の不具合や検査等で指摘のあった事項に対し、関係部署と連携し速やかに対応を行った。
- R7は、地下1階女子トイレのドアの不具合や水栓からの水漏れなどが生じたが、館職員、設備運転保守管理業者や工事業者と連携を図り、ドアチェック交換や水栓金具交換を迅速に行い適切に対応した。
- 大雪の影響による屋根からの落雪事故防止のために、正面玄関側及び職員通用口側の屋根の雪下ろし及び除雪業務に迅速に対応し、来館者及び職員の安全を図った。



<カフェ きねずみ>

### ○施設の快適性の向上

- 受付・監視等委託業者による丁寧な接客対応を実施した。
- 館職員、警備、受付・監視、設備運転管理保の各委託業者、カフェ・売店事業者がそれぞれ連携を図り、良好な滞在空間の維持・提供に努めた。
- 図書コーナーに靴を脱いでくつろげるスペースを設置し、絵本を配架するなどして子どもも利用しやすくなる工夫をした。



<タイルカーペットのスペース>

# ②令和7年度展覧会事業

2025

2026

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
休館日	1~3,7,14, 19~24,28	7,12,19,26	2,9,16,19~27, 30	7,14,22,28	4,12,18,25, 29~31	1~5,8,16,22, 29	6,14,20,27	10,17,25~30	1~5,8,15,22, 29~31	1~3,5,13,19, 26	2,9,16,24~27	2,9,16,23, 27~31

展覧会	<p>所蔵品展 第1期 (13日間) 4月4日(金)~18日(金) <b>「匂ふやうな灰色」-好太郎・乳白色の世界へ</b> ※R6年度より継続</p>	<p>所蔵品展 第2期(47日間) 4月25日(金)~6月18日(水) アーモンドの瞳の女 -美神たちのまなざし 1~5室 同時開催: <b>好太郎のデザイン・ワーク</b> 6~7室</p>	<p>所蔵品展 第3期 (53日間) 6月28日(土)~8月28日(木) <b>所蔵品展プレミアム</b> 三岸節子生誕120年 永遠のオマージュ 好太郎と節子 1~7室</p>	<p>特別展 第3期 (70日間) 9月6日(土)~11月24日(月振) <b>線が、息づく。</b> 好太郎の線、鈴木ヒラクのドローイング 1~7室 * 芸術週間中の観覧料 ~団体観覧料</p>	<p>所蔵品展 第4期 (年度内87日間) 12月6日(土)~3月26日(木) * 一部展示替2/24~2/27 * 年度末休館3/27~3/31 ふたりの「悪童」-美術史家・外山卯三郎と好太郎 I期: 1~3室 II期: 1~7室 ■同時開催: AGH事業 12月6日(土)~2月23日(月振) #みまのめ(VOL.11) (64日間)4~7室</p>
-----	--	--	---	--	---

連携展示	3~6月 北菓楼札幌本館における展示 ミギシ・サテライト	6~9月 ミギシ・サテライト	9~12月 ミギシ・サテライト	12~3月 ミギシ・サテライト	3月 ~
------	---------------------------------	-------------------	--------------------	--------------------	---------

普及事業	7月~8月 「たんけん美術館」	9月 鈴木ヒラク氏 ワークショップ&トーク・セッション(9/5,6)	街歩き ツアー (9/27) 「好太郎の札幌を歩く -北大界限」	芸術週間 (11/1~7)	12月~2月 「たんけん美術館」	AGH事業「#みまのめ」 ・アーティスト・トーク	
	<p>・ボランティア展示解説 (平日13-15時)</p> <p>・学芸員による ギャラリー・トーク (月1回程度)</p>	<p>アート・トーク 三岸太郎さん、三岸龍生さん (6/28)</p>	<p>7月1日 開館記念日</p> <p>7月17日 道みんの日</p> <p>7月25日 カルチャーナイト</p>	<p>7月25日 ミニ・リサイタル(公募決定済み) 1部30分</p>	<p>8月9日 ミニ・リサイタル(教育大) 2部1時間</p>	<p>10月11日 ミニ・リサイタル(大谷大) 2部1時間</p>	<p>11月1日 芸術週間 ミニ・リサイタル (公募決定済み) 1部30分</p>
音楽イベント (音楽のある美術館)							

\* 図書コーナー/通年 2F 三岸好太郎に関する画集・図録・文献や、美術図書等を閲覧できます。

\* 所蔵品展示解説/火~土 午後1~3時(祝日および休館日を除く) 解説: 北海道美術館協会ボランティア

\* 学芸員によるギャラリー・トーク/映像機器等利用のミニ講話(展示室内 月1回程度[日曜など]) 講話: 当館学芸員

□アニヴァーサリー/7月1日は開館記念日(観覧無料) 4月18日は三岸誕生日 ■カルチャーナイト/7月25日(金) ■芸術週間/11月1日(土)~7日(金)

## 【展覧会の実施状況】

### (1) 所蔵品展

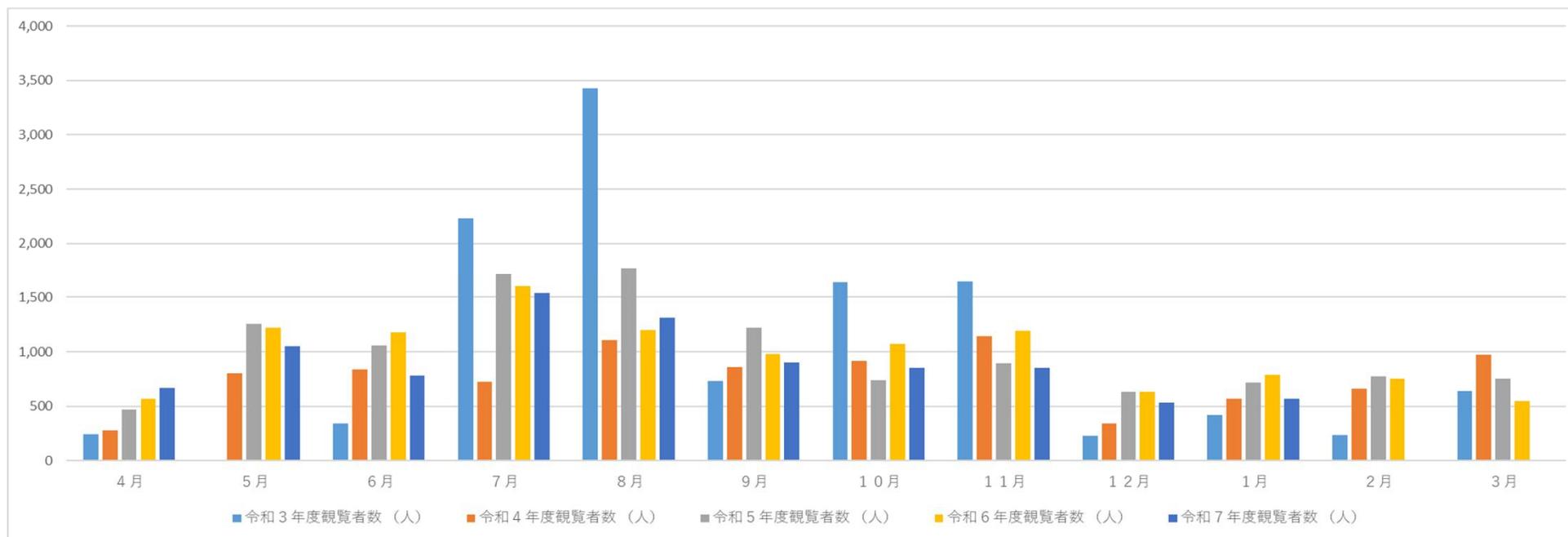
展覧会名	内容	開催期間	日数	観覧者数	
				人数計	1日当たり
第1期 「匂ふやうな灰色」 －好太郎・乳白色の世界へ ※R6年度より継続	好太郎の妻で画家の三岸節子は、好太郎の魅惑的な乳白色の色彩を「匂ふやうな灰色」と呼んだ。好太郎がこの独自の色彩の世界に至るまでの道程を、初期から晩年までの代表作によって跡付ける。	4/4[金]～4/18[金]	13日	482人	37人
第2期 アーモンドの瞳の女 美神(ミューズ)たちのまなざし ■同時開催 好太郎のデザイン・ワーク	好太郎の描くアーモンド形の瞳を持つ女性像、そのまなざしの表現に注目しながら、好太郎の女性像の神秘的な魅力に迫る。  ■挿画・想定などのグラフィックな仕事やアトリエ建築デザインなど、好太郎のデザインの仕事を紹介する。	4/25[金]～6/18[水]	47日	1,868人	40人
第3期 三岸節子生誕120年 永遠のオマージュ 好太郎と節子	三岸節子生誕120年の節目にあわせ、三岸好太郎の画業を振り返るとともに、好太郎没後の顕彰へ献身した画家・節子の芸術の一端、さらに令和6年度に寄贈された節子の作品などをまじえて、互いに捧げあった愛と尊敬のありようを紹介する。	6/28[土]～8/28[木]	53日	2,997人	57人
第4期 ふたりの「悪童」 －美術史家・外山卯三郎と好太郎 ■アートギャラリー北海道 mima-no-me #みまのめ(VOL. 11)	好太郎のモダニズムへの接近に、美術史家・外山卯三郎が果たした役割を、ふたりの交流の軌跡からさぐる。。三岸の作品や外山の著書に加え、外山の三岸への影響がわかる資料を出品。  ■北海道ゆかりの若い作家を紹介するシリーズ企画11回目。若手作家4名の作品展示とアーティスト・トーク。	12/6[土]～2026.3/26[木] (翌年度に継続～4/19[日]) (#みまのめ(VOL. 11)は～2026.2/23[月振])	87日 (44日)	(1,100人)	(25人)
計			200日	(6,447人)	

(1/31現在)

### (2) 特別展

展覧会名	内容	開催期間	日数	観覧者数	
				人数計	1日当たり
線が、息づく。 好太郎の線、鈴木ヒラクのドローイング	多様な「線」の表現を追求した好太郎と、即興生の高いドローイングからまだ見ぬ「線」をうかびあがらせる現代アーティストの鈴木ヒラク、鈴木ヒラクに重要なインスピレーションを与える先史時代の洞窟壁画、この時代も地域も異なる三者の芸術を接続するものとして、「線」という表現に焦点を当てる。鈴木の大形ドローイングと三岸の線描表現を対比する形で展示。	9/6[土]～11/24[月振]	70日	2,608	37人
計			70日	2,608人	

## 【観覧者数の推移】



項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度観覧者数	(人)	247	0	340	2,233	3,427	732	1,637	1,647	233	424	237	643	11,800
令和4年度観覧者数	(人)	282	805	840	725	1,109	861	917	1,139	342	569	660	972	9,221
令和5年度観覧者数	(人)	470	1,256	1,054	1,712	1,772	1,221	739	896	634	719	774	754	12,001
令和6年度観覧者数	(人)	572	1,220	1,176	1,601	1,201	977	1,071	1,189	632	788	754	547	11,728
令和7年度観覧者数	(人)	665	1,048	784	1,541	1,309	902	855	851	533	567			9,055

## 3 - (2) 令和 8 年度事業実施計画（予定）（三岸好太郎美術館）

### ①令和 8 年度 三岸好太郎美術館事業予算

単位：千円

歳入予算					歳出予算				
区分	令和 7 年度 予算額 (a)	令和 8 年度 予算額 (b)	比較 (b-a)	摘要	区分	令和 7 年度 予算額 (a)	令和 8 年度 予算額 (b)	比較 (b-a)	摘要
常設展観覧料 収入	1,766		-1,766		常設展事業費	3,477			
特別展（道 単）観覧料収 入	995		-995		移動美術展 （道単）事業 費	3,181	10,395	3,737	特別展（北大）6,503 所蔵品展等（その他）3,892
助成金等収入	1,770	5,914	4,144	三菱財団 4,924 朝日新聞 90 花王芸術・文化財団 900	教育普及・調 査研究資料収 集費	300	308	8	美術館事業の理解と関心を 高める教育普及活動のほか 調査研究・資料収集等に要 する経費
					親子ふれあい 芸術体験事業	172	172	0	親子ふれあい芸術体験事業 の実施に要する経費
一般財源	3,749	6,127	2,378		その他	1,150	1,166	16	広報経費等
計	8,280	12,041	3,761			8,280	12,041	3,761	

## ②令和8年度の主な取組

### A 優れた作品の収集と適切な保管

- ・美術館にふさわしい作品の収集活動の成果と課題を踏まえ、第四期北海道立美術館等作品収蔵計画に基づいた三岸好太郎の作品や資料の収集。
- ・展示・保存環境を適切な状態に保持。
- ・作品の状態・保管状況を適宜点検のうえ、必要に応じて修復や保管状況を改善。
- ・調査研究の進展を踏まえつつ、各テーマに即して多彩多様な作品展示となるよう工夫のうえ、保存面にも配慮し効果的に活用。
- ・これらの事業の充実や作品修復に向けて引き続き外部資金の確保に努める。

### B 多彩で特色ある展示活動の充実

- ・展覧会の内容については、別途説明。（館内及び館外での事業展開）
- ・「アートギャラリー北海道事業」の一環#みまのめ展による若手作家の表現活動の紹介。（大学と連携した館外会場での実施）
- ・各企画テーマに沿った展示方法や解説パネル等の工夫に取り組み、作品の魅力をさらに引き出して理解と観覧の質を高める。
- ・コレクション以外の三岸作品や他作家の作品などの展示（特別展、みまのめ等）により、観覧者層の幅を広げ、美術館への注目度を高める。
- ・ミギシ・サテライト(北菓楼札幌本館)、知事公館、豊平館および北大にて三岸作品を展示する他、道内外の美術館等からの貸出希望に応じ、所蔵作品の価値の周知と美術館への好感度を高めることに取り組む。
- ・学校への働きかけやSNSを活用し、児童生徒や若い世代の観覧者の増加に努める。



<知事公館>



<豊平館>



<北大ワイン教育研究センター>



<#みまのめ会場 教育大HUG>

## C 学習の場と情報提供の充実

- ・ミニ・リサイタルや音楽会、アート・トーク、街歩きツアーなど展覧会の内容に関連したイベントの実施。
- ・夏休み・冬休み期間に子ども向けプログラム「たんけん美術館」の実施。
- ・学芸員によるトークや解説活動、ボランティアと連携した解説の実施。
- ・「#みまのめ」展での出品作家によるトークの実施。
- ・ホームページやSNSによる計画的で頻度の高い情報発信と、外部との連携による広報活動。

## D 活動の基礎となる調査・研究の推進

- ・令和8年度以降の展覧会関連テーマや他館所蔵作品、北海道の若い芸術家たちの活動等についての調査・研究。
- ・三岸好太郎や作品に関する資料（二次資料）や多様な情報の調査・収集・蓄積・保管・整理を進め、三岸好太郎の研究・鑑賞・学習等のセンター的・アーカイブ的な機能の充実、一般利用者・研究者等が行う調査・研究の支援・協力。

## E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

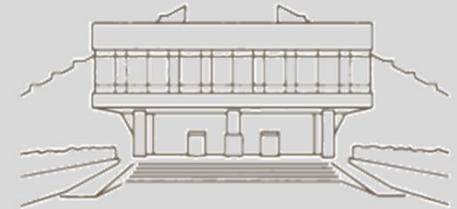
- ・北海道美術館協力会や美術館ボランティアの活動への協力。
- ・北菓楼札幌本館での「ミギシ・サテライト」や後援会、地域の様々な団体等と連携・協力した事業の実施。
- ・近代美術館と連携した「オンラインアート教室」「指導者研修」「博物館実習」「ポケット学芸員」などのほか、児童生徒の自主研修や体験学習等への対応、地域の学校への出前講座など鑑賞事業の充実を図る。

## F 安全で快適な滞在環境の提供

- ・施設の安全性確保のため、定期点検や老朽化した設備修繕・更新などの必要な措置。
- ・館職員、受付・監視業者、カフェ・ショップ事業者の連携による良好な滞在環境の提供。

### ③令和8年度展覧会・教育普及活動事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
休館日 ※移動美術館の休館日は別途	1~17,20,27	7,11,18,25	1,8,15,22,29	6,13,21,27	3,10,17,24,31	1~19,24,28	5,13,19,26	9,16,24,30	7,11~31	1~4,12,18,25	1,8,15,22	1,8,15,23~31	
展覧会 〈三岸好太郎美術館〉	所蔵品展第1期（116日間）超新星 三岸好太郎・画業のきらめき 4月18日(土)~8月30日(日)					所蔵品展第2期（71日間） 好太郎をめぐる 7人の男と女 9月20日(日)~12月10日(木)			所蔵品展第3期（67日間） 好太郎の春夏秋冬 1月5日(火)~3月22日(月・祝)				
〈移動美術館〉	移動美術館 第1会場（27日間） 4月25日(土)~5月28日(木) 「おかえり好太郎さん 95年目の個展」 (豊平館)		移動美術館 第2会場（40日間） 特別展「好太郎と北大」 6月26日(金)~7月20日(月祝) 「好太郎と北大」（16日間） (北海道大学北海道ワイン教育研究センター プロモーションホール) 6月26日(金)~8月31日(月) 「昆虫学者・松村松年と好太郎」 (40日間) (同センター ティスティングスペース)			移動美術館 第3会場（13+13日間） 10月26日(月)~11月9日(月) 11月12日(木)~26日(木) (北教大HUG) AGH事業 #みまのめ 〈VOL. 12・13〉			移動美術館 第4会場（年度内234日間） 4月27日(月)~3月31日(水) ※知事公館 *年末年始休館12/29~1/3 所蔵品展「三岸好太郎の芸術」(仮)				
	連携展示												
普及事業	3~6月 北菓楼札幌本館における展示 ミギシ・サテライト		6~9月 ミギシ・サテライト			9~12月 ミギシ・サテライト			12~3月 ミギシ・サテライト		3月~		
	・学芸員による ギャラリー・トーク (月1回程度)		5月7日(木) アート・トーク 「豊平館と芸術」(仮) (豊平館)	5月23日(土) 街歩きツアー 「好太郎の札幌を歩く - すすきのから中島公園へ」	7月~9月 「たんけん美術館」			芸術週間 (11/1~7)		12月~2月 「たんけん美術館」			
音楽イベント (音楽のある美術館)	7月1日(水) 開館記念日		7月17日(金) 道みんの日		AGH事業 「#みまのめ」 ・アーティスト・トーク(HUG)			マール記念日		12月19日(土) ミュージアム・コンサート (知事公館)			
	5月16日(土) 第234回 ミニ・リサイタル (豊平館)		9月19日(土) 第235回 ミニ・リサイタル (知事公館)			芸術週間 11月7日(土) 第236・237回 ミニ・リサイタル (HUG)							
<p>* 図書コーナー/通年 2F 三岸好太郎に関する画集・図録・文献や、美術図書等を閲覧できます。</p> <p>* 所蔵品展示解説/火~土 午後1~3時 (祝日および休館日を除く) 解説: 北海道美術館協力会ボランティア</p> <p>* 学芸員によるギャラリー・トーク/映像機器等利用のミニ講話 (展示室内 月1回程度[日曜など]) 講話: 当館学芸員</p> <p>□アニヴァーサリー/7月1日は開館記念日 (観覧無料) 4月18日は三岸誕生日</p>													



## 資料1 道民意見聴取結果について

# 道民意見聴取結果について

## 実施日時等

8月31日(日)  
13:00~15:00

【対象】中学生~高校生

参加人数	30名
中学生	5名
高校生	25名

12月21日(日)  
13:00~15:00

【対象】一般の方

参加人数	23名
------	-----

11月3日(月)  
14:00~15:00

【対象】小学生と保護者

参加人数	
小学生	19名
保護者	28名

1月30日(金)から

今後の予定

### グループディスカッション

- 館内見学ツアー
- グループディスカッション



### 館内探検会

- 館内見学ツアー
- ヒヤリング



### Webアンケート

### 障がい者団体等へのヒアリングの実施

## 実施概要

### どんな人が、どのように美術館を利用するのか

- 自分自身の目線に加え、「子連れ」、「外国人」、「若者」、「車椅子を利用した高齢者」などの立場から、近美内外をどんな人が、どのように利用するかを2点を中心に複数グループに分かれ、ディスカッションを実施。
- 館内見学で実際に感じた印象を基に、施設を利用する人ごとの過ごし方や、必要とされる配慮などについて議論し、新たな美術館での楽しみ方や過ごし方についての意見やアイデアをいただきました。

### 今の美術館の魅力とリニューアルへの期待・課題

- 1のテーマで話し合った内容や館内見学ツアーで気づいたことを基に、残したい魅力や、変えて欲しい部分について議論。
- リニューアル後に大切にしたい魅力、より利用しやすくなるために見直したい点の両方について、率直な意見が交わされました。

### 好きなところ、変わってほしいところ

- 館内の写真や図面に、館内見学をして感じた「好きなところ」、「変わってほしいところ」にシールを張り付け。シールだけでは伝えきれない意見は付箋に記載。
- 好きなところの意見は91点、変わってほしいところの意見は90点いただき、そのほか、こんな美術館になってほしいというアイデアを多くいただきました。

### どのように過ごしたいか、希望する機能や残してほしいところ

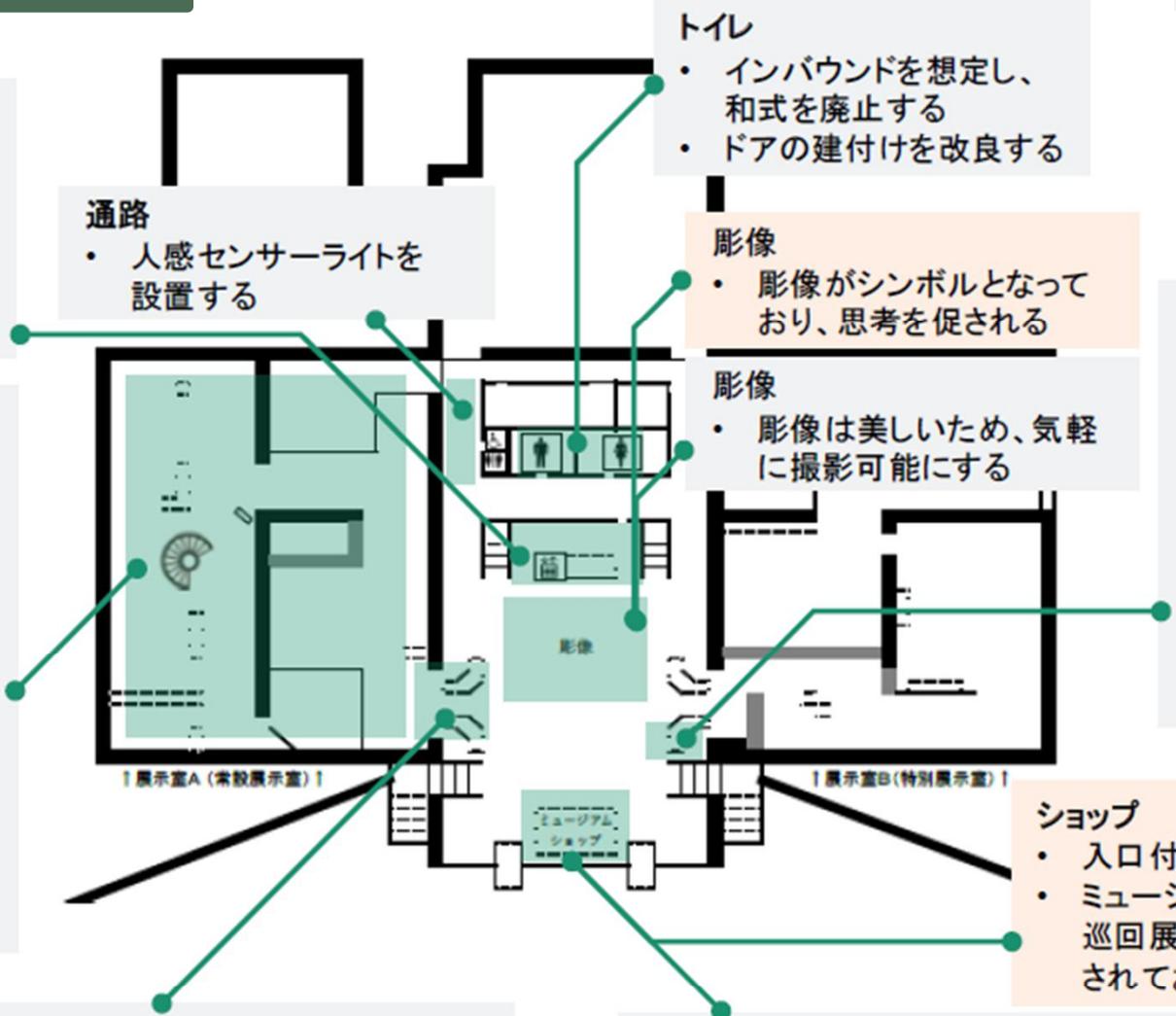
- 札幌圏外の方や幅広い属性の方の意見を聴取。
- 障がいのある方々が安心して訪れることのできる施設にするために意見を聴取

## 中高生ディスカッションの結果

各諸室及び設備に対する意見（1階）

リニューアル後も残したい点  
リニューアル後に変更したい点

- ARS(アート・レファレンス・サービス)**
- 資料の数、資料を読む場所を増やす
  - 資料検索の機械を導入する
- 展示室**
- 北海道の作家や学生の作品を展示する
  - 若者に向けた展示(現代アート・写真映え・推し活)を増やし、Instagramでの紹介を促す
  - プロジェクションマッピングを導入する
  - 英語表記を増やす
  - 書き置きできる感想・お絵描きノートを設置する
  - 即時体験できるコーナーを設置する



- 案内 (Information)**
- フロアマップは紙ではなくパネルで大きく表示する (Floor map should be large panels, not paper)
  - 立入可能エリアを当該諸室前の地面から足跡スタンプを付与するなどして明確にする (Hall and exhibition room areas should be clearly marked with footprint stamps)
  - 場所が狭い通路の奥にあり、立入可能か曖昧 (Locations are in narrow corridors, unclear if accessible)
  - 展示室以外は無料で利用できることを知らせる (Inform that exhibition rooms are free to use)

- 入口 (Entrance)**
- カンファレンスルーム・研修室・売店などの気軽に立ち寄れる施設を入口に配置する (Place facilities like conference rooms, training rooms, and shops near the entrance)
  - 入口近辺の動線が交錯しており、わかりづらく危ない (Entrance area has complex traffic flow, confusing and dangerous)

- ショップ (Shop)**
- 入口付近にあるのがよい (Good to be near the entrance)
  - ミュージアムショップと巡回展ショップが分離されておりわかりやすい (Museum shop and touring exhibition shop are separated, easy to understand)

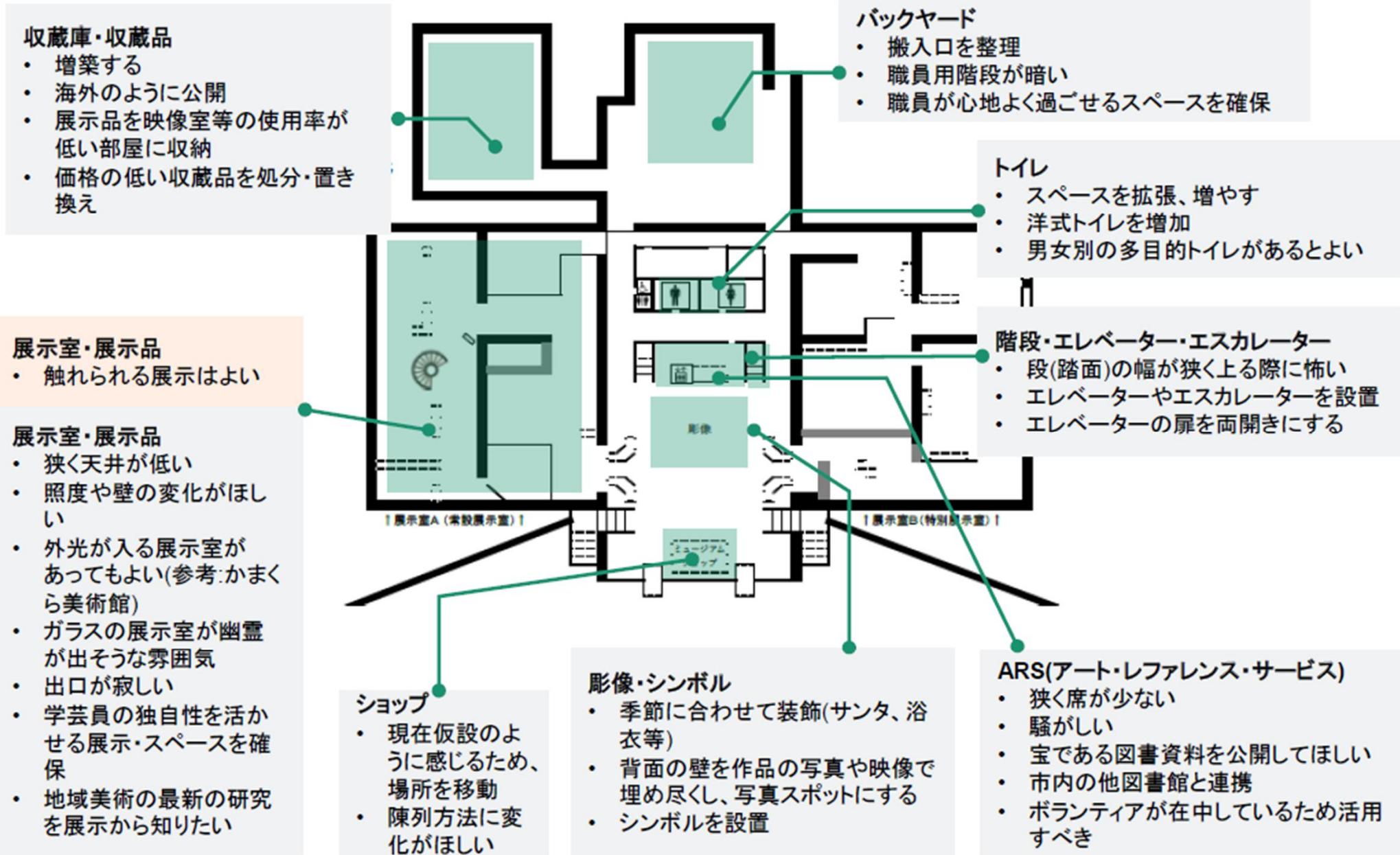
- ショップ (Shop)**
- 常設売店が入口に近く混雑が予想されるため、場所を検討する (Permanent shop near entrance, consider location due to expected congestion)
  - 常設ショップと期間限定ショップが分かれており、入った時に少しごちゃついた印象を受ける (Permanent and limited-time shops are separated, some cluttered impression)
  - ガチャポンの種類を増やす (Increase variety of gachapon)
  - 屋外にもショップを開く (Open shops outdoors)



## 一般ディスカッションの結果

各諸室及び設備に対する意見（1階）

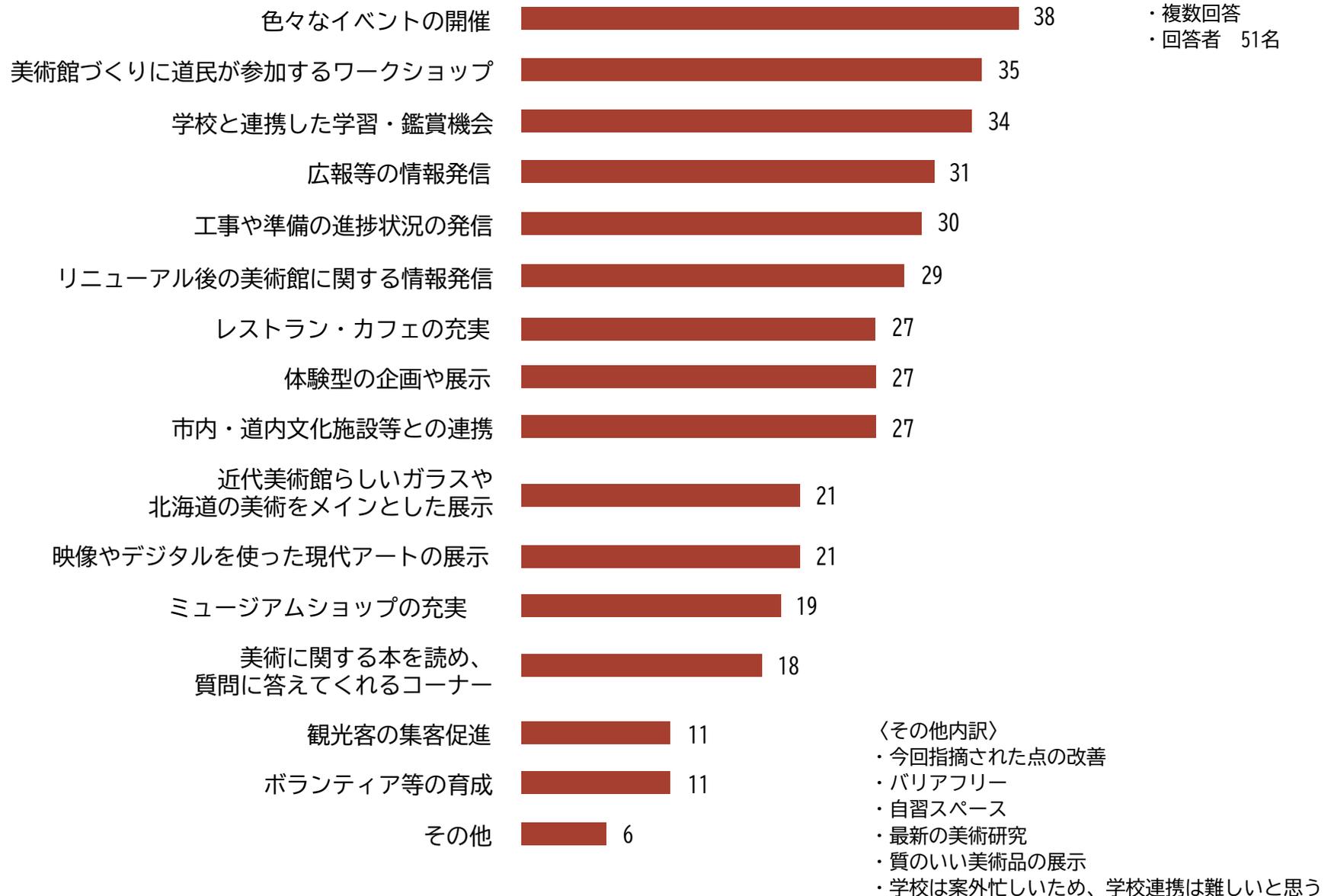
リニューアル後も残したい点  
リニューアル後に変更したい点





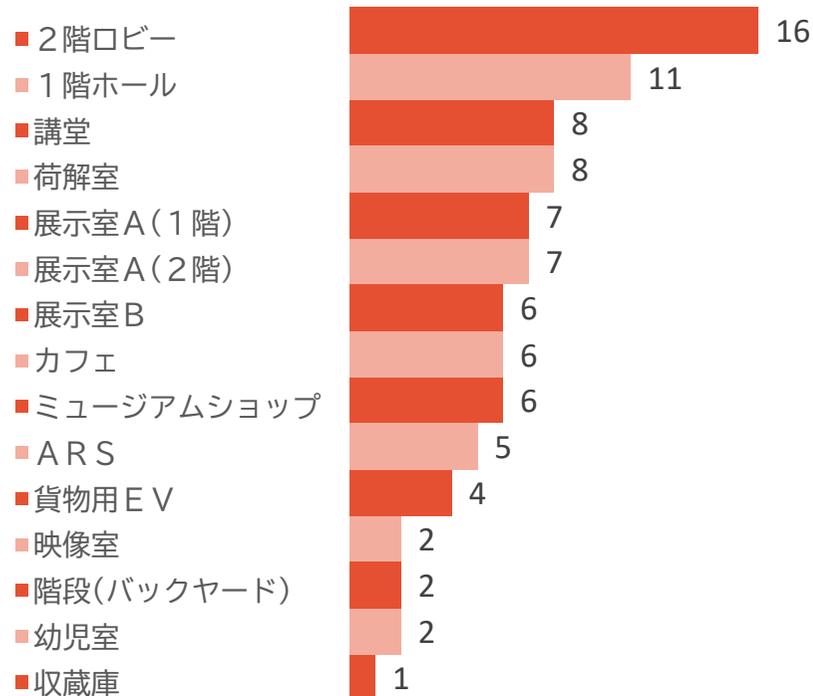
## 実施後アンケート結果

### リニューアル後の新しい美術館に期待する取組み

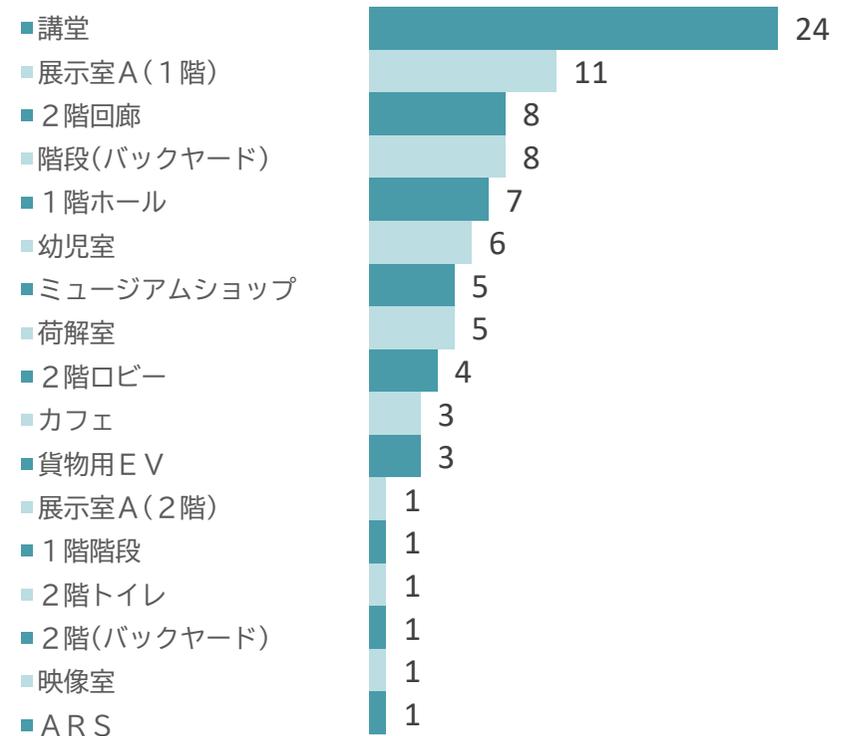


## シール投票結果

### ● 好きなところ



### ● 変わってほしいところ



### いただいた意見やアイデアの一部

- 楽しくてワクワクするような美術館になってほしい。例えば、自分が描いた絵を飾ったりとか。
- 外国人にもわかるように英語でサインを表記してほしい。
- 誰でも楽しめるような美術館になるために、カフェや幼児室を大きくしてほしい。
- エレベーターをもっと大きくしてほしい。

- 講堂を障がいのある人も使いやすいように平らな床にしてほしい。
- 景色が見える2階ロビーはあのままにしてほしい。
- ガラスの作品の展示室の照明を暗めになっているのは、綺麗に見えてよかった。
- トイレを新しくしてほしい。
- お客さんが美術館に入った瞬間にワクワクが広がるようなホールにしてほしい。

## Webアンケート

### 北海道立近代美術館リニューアル Webアンケートご協力のお願い

リニューアル後の近代美術館で  
「どのように過ごしたいか」、「希望する機能や残してほしいところ」などを教えてください。

アンケート受付期間  
2026年 1/30 ▶ 6/30

Webアンケートを回答  
(URLリンク先に移動します)

<https://www.harplg.jp/eN3JYgkL>

### 北海道立近代美術館について

**1977年 開館**  
現在築48年が経過

これまでに**1,279万人**が来館  
米場者数10万人を超える展覧会も開催

収蔵されている作品は**6,000点以上**

**北海道の美術**  
北海道出身の作家や  
北海道を活動拠点とした作家による美術

**ガラス工芸**  
国内屈指の内容を誇る  
日本近代ガラスのほか、  
エミール・ガレなどの近現代ガラスを収集

**エコール・ド・パリ**  
バスキンやユトリロ、シャガールなど、  
20世紀前半のパリで花開いた  
芸術家たちの作品群

※R6年度末時点

### エリアについて

**近代美術館**  
北海道における美術文化の拠点として、充実したコレクションを形成し、多彩な展覧会を開催。

**三岸好太郎美術館**  
札幌出身の画家・三岸好太郎の遺族からの寄贈作品を中心に、生涯にわたる代表的作品を収集、展示。

**知事公館**  
国の登録有形文化財。  
緑豊かな敷地内には、多様な樹木が2,400本生息。

### リニューアルの基本的な考え方

課題

- 建物の老朽化
- 手狭な収蔵庫
- 時代のニーズ

諸室の転用や増築等のリノベーションにより、  
現在の建物を活かしながら、「目指す姿」の実現に取り組みます

### 北海道立近代美術館の「目指す姿」

**ビジョン** 私たちが目指すもの  
アートの価値を継承・発展させ、誰もがその豊かさを楽しむことで、多様な人々が互いを受け入れ、活かし合う、創造性と活力にあふれる社会を目指します。

**ミッション** 私たちの使命、役割  
北海道の美術文化の中核として道民に親しまれる美術館を目指します。アートで人々の感性を育み、地域と協働でアートを活性化。多様な社会づくりに貢献し、道民とともに歩みます。

**コンセプト** 私たちが取り組んでいくこと

- ハーモニー：文化と自然の調和した、誰もが心地よい空間を創ります。
- コレクション：文化と教育の資源として収集し、展示やプログラムに活用します。
- リサーチ：専門性を深めつつ、新たな価値を発見し、美術館活動に活かします。
- コラボレーション：多様な連携を通じて、地域の美術文化、美術教育を活性化します。
- ウィズ・キッズ：子どもたちの生涯にわたるアートとの関わりの礎を築きます。

### これまでいただいた意見

- ✓誰でも楽しめるような美術館になるために、カフェや幼児室を大きくしてほしい
- ✓トイレの数を増やし、広くしてほしい
- ✓車椅子でも楽しみやすい美術館だいたい
- ✓来館者が美術館に入った瞬間にワクワクが広がるようなホールにしてほしい
- ✓近美前庭も魅力的になるように工夫が必要

※ ここに掲載したご意見は、2025年8月・11月・12月に開催したワークショップでいただいたものの一部です。

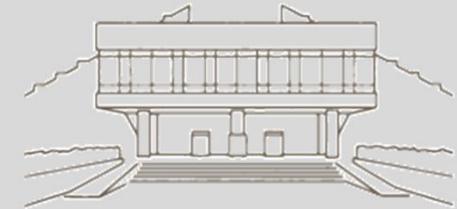
これまで開催したワークショップの様子や継続的な検討状況はこちらから！

<https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kinbirenewal.html>

お問い合わせ

北海道教育委員会生涯学習推進局文化財・博物館課  
〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館7階  
電話：011-206-6744  
メール：kyoiku.bunka1@pref.hokkaido.lg.jp





## 資料2 リニューアル後の名称について

令和8年（2026年）2月18日（水）

## 北海道立近代美術館・三岸好太郎美術館の経緯

昭和42年（1967年）9月	旧道立図書館を改装し、「北海道立美術館」が開館（三岸好太郎の作品が中心）
昭和52年（1977年）6月	「北海道立美術館」を「北海道立三岸好太郎美術館」へ
昭和52年（1977年）7月	現在の地に「北海道立近代美術館」を移転新築
昭和58年（1983年）7月	現在の地に「北海道立三岸好太郎美術館」を移転新築

## 名称設定の経緯

→ 昭和51年（1976年）4月 次の理由から名称を決定 ⇒ 昭和52年（1977年）3月 条例改正

- ① 作品の収集展示は、明治以降及び19世紀後半以降いわゆる「近代」の作品が中心であること。
- ② 北海道の美術については、歴史性、地域性からも、明治以降現代に至る限られた年代にとどまるものであること。
- ③ 各地を代表する主な国、公立の近代美術館などとの連携を保つなかで、各種資料、情報の交換を進め近代美術館としての内容豊かな活動を意図するものであること。
- ④ 従来の美術館に与えられてきたイメージを脱して、活動する美術館として今日的印象を表現したいこと。

## 有識者意見

第2回	佐藤委員	最近では、蠣崎波響やアイヌ・アートなど <u>近代以前の美術も注目されている</u> 。「近代」がコレクション収集の足かせにならないような検討も必要ではないか。
	北村委員	コレクションの核となるものが、エコール・ド・パリやガラス工芸であることは確かだが、浮世絵に広がったり、色々な寄贈作品により多様化している。また、 <u>文明展や古美術の展覧会を開催しており、必ずしもコレクションと展示が美術館の名称と一致していない。</u>
第4回	佐藤委員	近年ではモダニズム自体が揺らいでおり、その画一的な美意識自体が大きく相対化されている。こうした状況を考えると、 <u>今後の幅広い活動のために「近代」という名称が有効なのかどうか、一度検討した方がよいのではないか</u> と思う。「近代」という名称を継承するにしても、なぜ「近代」なのかを明確にしながら、様々な時代や地域の美の多様性、また北海道ならではの地方性を追求するという方向性をミッションにしっかり入れていく必要があると思う。
	佐々木宰委員	名称変更も含めて、「近代」という言葉の使われ方に関しては再考の余地がある。 <u>「近代」という言葉がつくことで、逆に制限される部分がある</u> ということを考えてほうがいい。

# (参考) 北海道立近代美術館及び三岸好太郎美術館の経緯



旧道立図書館

↓ 改修

昭和42年9月 北海道立美術館

※ 三岸好太郎の遺作品を納めた  
実質的な三岸好太郎記念館

↓

昭和52年6月 道立三岸好太郎美術館

↓

現在 北菓楼札幌本館

新築移転

昭和52年7月 道立近代美術館



昭和58年7月 道立三岸好太郎美術館



新築移転

## 都道府県立美術館の名称変更の事例

現在の名称	旧名称	変更時期	リニューアル	変更の趣旨
富山県美術館	富山県立近代美術館	2017年 (1981年)	移転	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術とデザインとの関係を見直し、両者をつなぐ場とすることを旨とするという新しい美術館の方向性を踏まえ、県の美術の拠点であるとともに、<u>将来を見据え、時代の変化に対応でき、様々な展開が出来る名称とした。</u></li> <li>・幅広い取組が出来るシンプルな名称、県立は響きが役所的との意見</li> <li>・県有の「富山県水墨美術館」、移転先の「富山県岩運河環水公園」との整合性</li> </ul>
滋賀県立美術館	滋賀県立近代美術館	2021年 (1984年)	改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かわる、かかわるミュージアム」をコンセプトに再開館するにあたり、新たな館の姿勢を表すため名表を変更</li> <li>・<u>様々な表現や活動と柔軟に向き合い、社会や環境の多様性をより深く感じられる場となる美術館を目指して、特定の時代や傾向を想起させる「近代」を外した。</u></li> </ul>
兵庫県立美術館	兵庫県立近代美術館	2002年 (1970年)	移転	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の老朽化や阪神・淡路大震災による被災を経て、2002年、神戸市中央区のHAT神戸地区に、建築家・安藤忠雄氏の設計による新館が開館し、名称を「兵庫県立美術館」に変更</li> <li>・「近代」という言葉が持つ時代的な制約を取り払い、<u>より広範な芸術表現を対象とする姿勢を示した。</u></li> </ul>

(文化財・博物館課調べ)

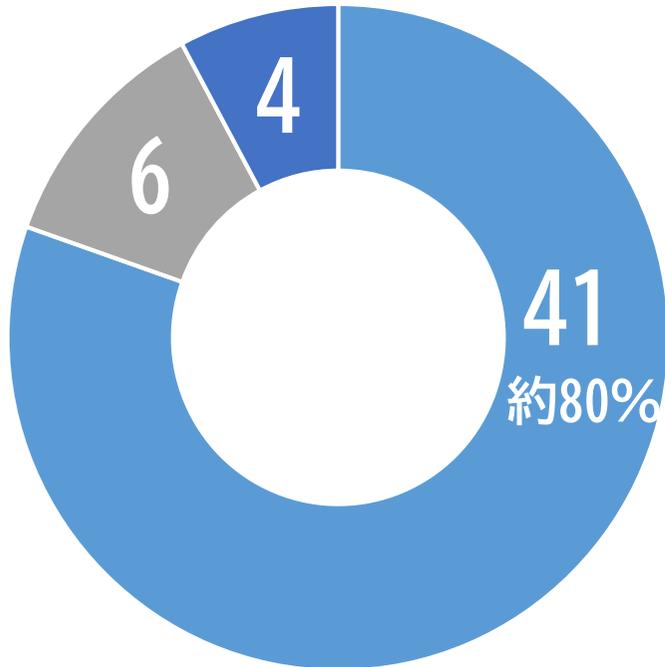
## 名称に「近代」を含む国立・都道府県立美術館

美術館名	開館時期	美術館名	開館時期
東京国立近代美術館	1952年	埼玉県立近代美術館	1982年
京都国立近代美術館	1963年	神奈川県立近代美術館	1951年
秋田県立近代美術館	1994年	新潟県立近代美術館	1993年
茨城県立近代美術館	1988年	和歌山県立近代美術館	1970年
群馬県立近代美術館	1974年	徳島県立近代美術館	1990年

(文化財・博物館課調べ)

## R7年度道民意見聴取イベント（グループディスカッション）におけるアンケート調査結果

有効回答数 51件  
中高生30件、一般21件



- 現在の名称を継続
- リニューアルを機に変更すべき
- その他

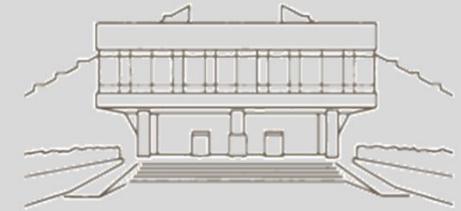
どちらでも良い  
廃止になったと思われるため  
サブタイトルがあればよい  
回答なし

### 現在の名称を継続

- 地域の人にはその名前で馴染んでいる。
- （今の名称は）分かりやすく、覚えやすい。
- 名称を変えると認識がずれるので良くない。
- 親しみのある「近美」という言葉も含めて後世に繋げて行って欲しい。
- 長年親しまれた名称を敢えて変える必要は無い。
- 名称はそのままでも良いが、いわゆる愛称を募集してもよいのでは。

### リニューアルを機に変更

- 近代美術に留まらない展示も行うはずなので、適した名称に変更を検討する価値はある。
- 近代美術という言葉は堅苦しく取っ付きにくい。正式名称はそのまま、ウポポイのような愛称を付けるべきでは？
- ロゴを新たに作成し、ブランド化すべき。
- もっと親しみやすい名称が良い。



## 資料3 休館期間中の取組について

令和8年（2026年）2月18日（水）

# 休館期間中の取組について

## リニューアル基本構想（第6-3 休館期間中の取組）

道民の皆様が芸術に触れる機会を確保することができるよう、移動美術館の開催のほか、デジタル技術の活用や、近接する三岸好太郎美術館や他の美術館等と連携した企画展示、学校と連携した教育普及活動等の実施を検討します。  
また、道民の皆様がリニューアル後の近代美術館に対する期待を一層膨らませていただくため、リニューアルに係る機運醸成に向けた様々な取組の展開を検討します。

## 休館期間中等の取組事例

### 宮城県美術館（休館期間：R5.6～R8.6予定）

（宮城県美HPを参照）

コレクション展	県内外の展示施設において、所蔵作品の展覧会を開催（R7年度：県外6か所）
移動美術館	佐藤忠良展（R7年度：県内1か所）
高精細レプリカ名作展	コレクションの代表作のレプリカを県内の公共施設に展示（R7年度：県内2か所）
出張教育普及プログラム	移動美術館やレプリカ名作展に合わせて、ギャラリートークや参加体験プログラムを多数開催
学校アウトリーチ	職員が学校を訪問し、高精細レプリカやアートカード等を用いた授業を実施（R7年度：7校）
まちなか美術講座	県美と東北工業大学が共催。所蔵作品や教育普及活動等について、職員が講演。
美術館ニュース「休館中限定号」	休館中の様々な活動や工事の進捗状況などをニュースレターにより発信。

### 横浜市美術館（休館期間：R3.3～R6.3）

（横浜市美術館記者発表資料R3.9.17を参照）

やどかりプログラム	休館中の仮拠点「PLOT48」内のスタジオ等で、創作講座やレクチャーを展開
横浜「出前」美術館	スタッフが、市内18区の文化施設や公共施設などを訪問し、レクチャーや体験講座を実施
New Artist Picks「Wall Project」	工事中の仮囲いを活用して、若手アーティストを紹介。

### 国立アイヌ民族博物館（R2.7開館）

（国立アイヌ民族博物館ニュースレターを参照）

開館PR展示「ヤヨペヨペ」	R元年4月～R2年6月まで、北海道内外36箇所の展示施設において、展示内容や今後の活動等についてパネルや動画で紹介。併せて、職員による講演会や体験イベントを開催。
---------------	---

# リニューアルの検討状況と今後の活動予定

		令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度以降 (2028年度以降)
リニューアル 検討		<ul style="list-style-type: none"> <li>■「近美リニューアル基本構想」策定 (R7.3道教委)</li> <li>■「知事公館・近代美術館エリア活用構想」策定 (R7.3総務部)</li> </ul>	<p>「近美リニューアル基本計画」の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備の基本方針、活動内容、施設整備のイメージ など</li> </ul> <p>PPP/PFI 導入可能性調査 (官民連携)</p>	<p><b>【時期未定】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■基本計画策定 (活動内容・施設整備・運営方法・体制・事業期間等) →基本設計・実施設計 →工事(改修・増築) &lt;収蔵庫(作品移動あり)&gt;</li> <li>※開館準備、休館期間あり(取組は別途検討)</li> </ul> <p><b>【時期未定】</b></p> <p>エリア全体の一体的な活用の検討 (知事公館や緑地の整備・三岸の在り方・近美リニューアル等) →整備等</p> <p>★三岸～役割・機能等の在り方検討踏まえた活動</p>		
美術館活動(近美)	コレクション展	3期 ※AGH(アートギャラリー 北海道)あり	3期 (青木美歌：通年) ※AGHあり	3期 ※AGH、SIAF連携あり	50周年 検討中	できる限り開催 (工事の状況次第)
	特別展 ○道単 ◎実行委共催 ◇貸館	4展 ◇琳派×アニメ展 ◎高山寺展 ◎三の丸尚蔵館展 ○星の瞬間	4展 ◇歌川国芳展 ◎金閣 銀閣 相国寺展 ◇トーベとムーミン展 ○イワタルリ展	4展 ◎ポケモン×工芸展 ◇魔法の美術館 ◇MINIATURE LIFE 田中達也 ○函美コレクション ※道展・全道展・新道展		休止
	作品収集・調査研究・教育普及等	継続的に実施				リニューアル準備も 勘案し実施

開館